



株主のみなさまへ

第98期 株主通信 2023年4月1日～2024年3月31日

Contents	トップメッセージ	1	社外取締役インタビュー	9
	新中期経営計画	2	トピックス	11
	連結決算ハイライト	5	会社情報	13
	連結財務データ	6	株式情報・CSR	14
	事業概況	7	グローバルネットワーク	裏表紙



代表取締役社長 梶村 聡

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2024年3月期連結会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により社会・経済活動の正常化が一段と進み、全体として堅調に推移しました。一方で、ウクライナや中東情勢をはじめとする地政学的リスクの高まりやインフレの進行、中国や欧米を中心とした景気後退懸念などにより、世界経済は先行き不透明な状況が続きました。

香料業界においても、内外経済の動向に合わせる形で、全体としては回復基調で推移しました。

このような中、当社グループは「人にやさしく、環境にやさしく」をスローガンとする『Vision 2040』のもと、中期経営計画『New Global Plan-1【NGP-1】』（2021-2023年度）を推進してまいりました。

当連結会計年度の売上高は、前期比4.9%増の195,940百万円、営業利益は前期比61.1%減の2,316百万円、経常利益は前期比40.9%減の4,707百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比63.5%減の2,698百万円となりました。

なお、当事業年度の配当については、配当の基本的な方針を踏まえ、中間配当は1株当たり35円、期末配当は1株当たり35円を実施し、年間70円の配当としております。これにより配当性向は50.5%となりました。

内部留保資金の使途については、コア事業の拡大を目指した生産設備、研究開発、情報関連等の投資に充当するとともに、財務体質の強化に活用してまいります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

New Global Plan-2【NGP-2】

新中期経営計画【NGP-2】がスタートしました。Vision 2040の実現に向けたセカンドステップとして、事業・経営基盤を強化し収益性の改善を目指します。

Vision 2040

人にやさしく、環境にやさしく

1. 多様な価値観を尊重する
2. 自然と共生し、人々の生活に彩りを与える
3. 夢と誇りを持って未知の世界へ挑戦する
4. 常に高い技術を追求する、かけがえのない会社

NGP-2 中期経営計画 New Global Plan-2

基本方針



【NGP-2】では、各基本方針における重要成功要因、キーサクセスファクターを設定しています。当社が基本方針のもとで何に注力しようとしているのか、方向性をステークホルダーに示してまいります。

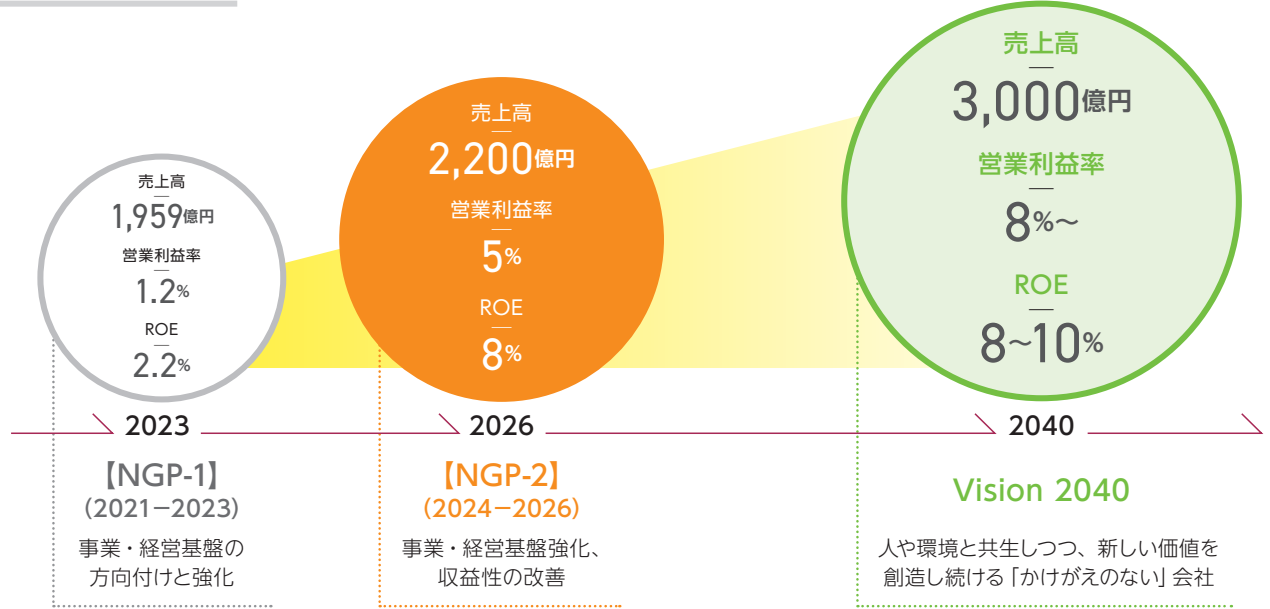
Key Success Factors

- 事業軸の成長戦略
- 新規顧客の開拓
- 売上総利益の拡大
- 海外サプライチェーンの最適化
- 先端科学による競争力のある技術の創成
- 売上総利益の最適化
- 実用の構造改革
- 新領域の開拓
- フレーバー・フレグランス製品生産効率性の追求
- 合成事業生産体制の再構築
- 国内サプライチェーンの最適化
- 先端科学による競争力のある技術の創成
- Sustainability2030の実行
- コーポレート基盤の強化
- 人的資本の価値最大化
- 業務遂行力の向上
- SDGsへの貢献を意識した製品の開発

関連する施策・KPIについては次のページで詳しく説明いたします。

New Global Plan-2【NGP-2】

NGP-2の位置付け



【NGP-2】の策定にあたって、東証からの要請や資本効率について総合的に検討を行いました。その結果、「Vision 2040」の定量目標の一部を見直しています。

「Vision 2040」で、ありたい姿とともに掲げた、売上高3,000億円、営業利益率8%～、ROE8～10%という定量目標に沿った形で、【NGP-2】の定量目標は、最終年度に当たる2026年度の売上高を2,200億円とし、営業利益率を5%、ROEを8%としました。

NGP-2目標値

ROE（期間）	4.0%～8.0%	1株配当（期間）	80円～160円
自己資本比率（最終年度）	57%	配当総額（累計）	72億円
EBITDA（累計）	490億円	配当性向（平均）	30%
設備投資（累計）	570億円	DOE %（最終年度）	2.0%～
政策保有株式対連結純資産比率（最終年度）	14%		

事業方針・施策

		売上高 年平均成長率	営業利益 3年累計
フレーバー	● 事業戦略や設備・研究投資を通じた、新規顧客の獲得や新興国でのビジネス拡大 ● 製品ポートフォリオ適正化による、収益性の改善 ● 各地域でのニーズを満たす素材/製品開発とグローバル連携による競争力の強化	2.5%	94億円
フレグランス	● 人的/技術のグループ内連携や設備・研究投資を通じた、パーソナルケアの注力。東南アジア、中南米、インドなど新興国でのビジネスの拡大 ● 原材料費や製造経費におけるマネジメント力の強化推進 ● 事業基盤の強化（人材、R&D、Consumer Insights & Market Research）	4.6%	32億円
アロマイングリディエント	● 農産業分野などの新領域、新興国での既存ビジネス拡大 ● 付加価値の高いスペシャリティ製品の拡充による収益性の改善 ● 生分解性やバイオベース値などに配慮した、環境にやさしい新規品の開発	0.6%	24億円
ファインケミカル	● 医薬品中間体カテゴリーの拡大 ● 新工場設備稼働による製品供給能力の強化 ● 触媒技術や連続フロー技術の深化による競争力の向上	5.8%	37億円

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

資本収益性の改善

- NGP-2 方針・戦略の着実な実行
 - ① 海外：事業軸での成長戦略、研究のグループ内連携などを通じ、市場の成長を取り込み利益を拡大
 - ② 日本：製品ポートフォリオの最適化、新領域の開拓、費用の構造改革など、収益性を改善
- ROEの安定化
- キャッシュ創出力 (EBITDA)の強化

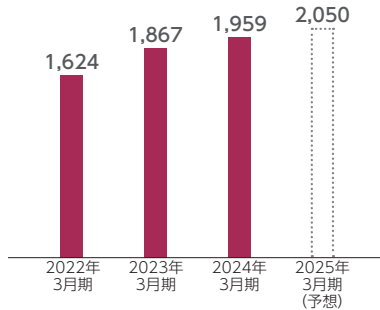
市場評価の向上

- 収益性の改善による市場からの成長期待
- キャピタルアロケーションの開示
- 配当政策の強化
- 株主・投資家との対話

企業価値の向上

売上高

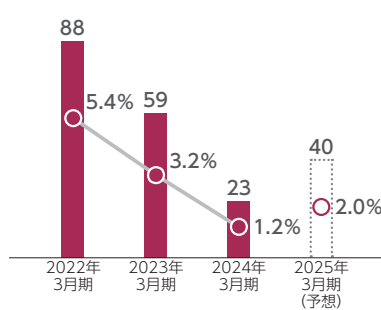
単位：億円



営業利益／売上高営業利益率

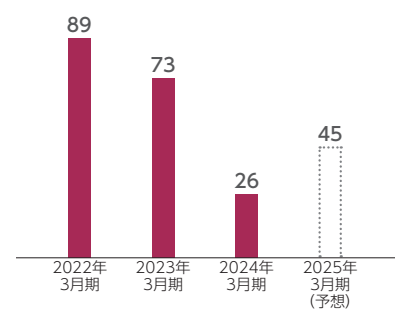
単位：億円

■ 営業利益 ● 売上高営業利益率



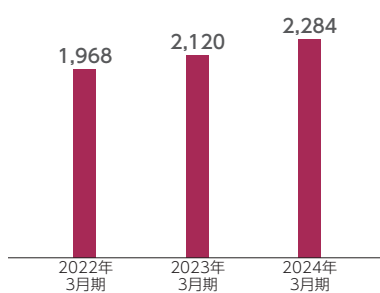
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：億円



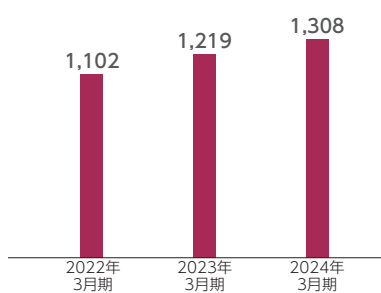
総資産

単位：億円



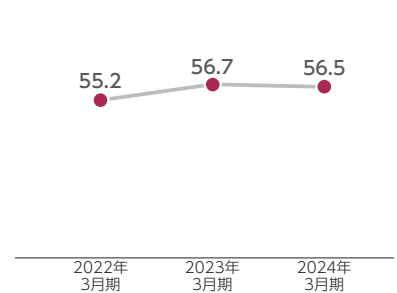
純資産

単位：億円



自己資本比率

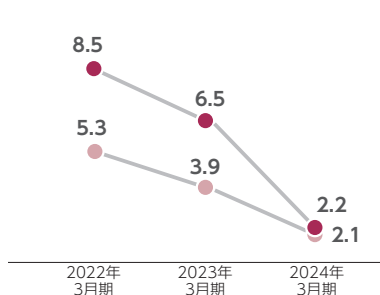
単位：%



ROE(自己資本当期純利益率)／ROA(総資産経常利益率)

単位：%

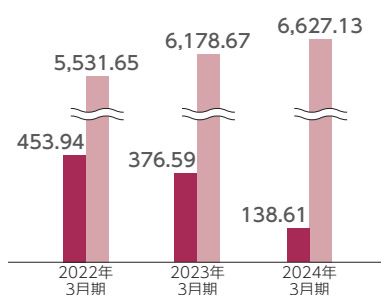
● ROE ● ROA



EPS(1株当たり当期純利益)／BPS(1株当たり純資産)

単位：円

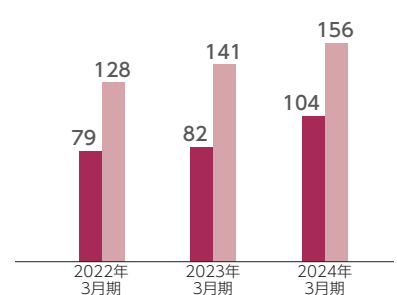
■ EPS ■ BPS



設備投資額／研究開発費

単位：億円

■ 設備投資額 ■ 研究開発費



詳細な財務データは当社IRサイトをご覧ください。 <https://www.takasago.com/ja/ir>

高砂香料 IR

検索

経営成績

単位：億円

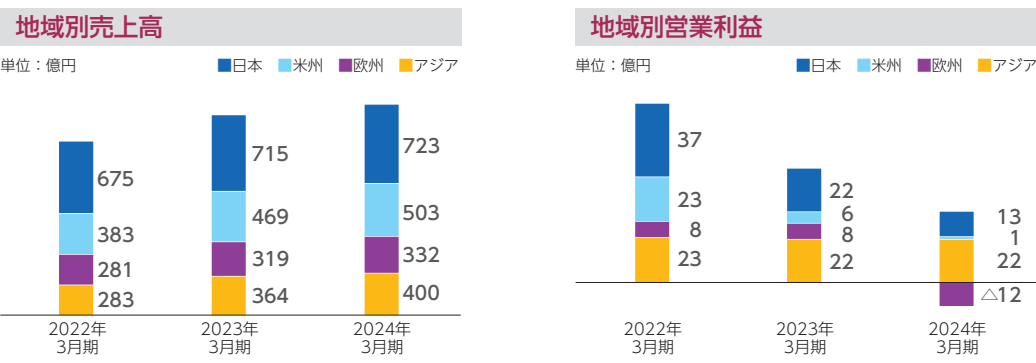
科 目			2020年3月期 (第94期)	2021年3月期 (第95期)	2022年3月期 (第96期)	2023年3月期 (第97期)	2024年3月期 (第98期)
売	上	高	1,524	1,503	1,624	1,867	1,959
売	上	原 価	1,098	1,053	1,113	1,323	1,394
売	上	総 利 益	426	450	511	544	564
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			399	387	423	484	541
営	業	利 益	26	62	88	59	23
経	常	利 益	28	72	101	79	47
親会社株主に帰属する当期純利益			34	71	89	73	26

財政状態

単位：億円

科 目			2020年3月期 (第94期)	2021年3月期 (第95期)	2022年3月期 (第96期)	2023年3月期 (第97期)	2024年3月期 (第98期)
流	動	資 産	909	917	1,068	1,171	1,260
固	定	資 産	918	927	899	949	1,023
流	動	負 債	554	503	571	611	690
固	定	負 債	326	327	294	289	284
純 資 産			947	1,013	1,102	1,219	1,308
(う ち 株 主 資 本)			(853)	(912)	(991)	(1,047)	(1,059)
総 資 産			1,828	1,845	1,968	2,120	2,284

地域別概況



■ 日 本

フレーバー部門およびフレグランス部門等が堅調に推移し増収となったものの、原料高騰の影響等もあり、減益となりました。

■ 米 州

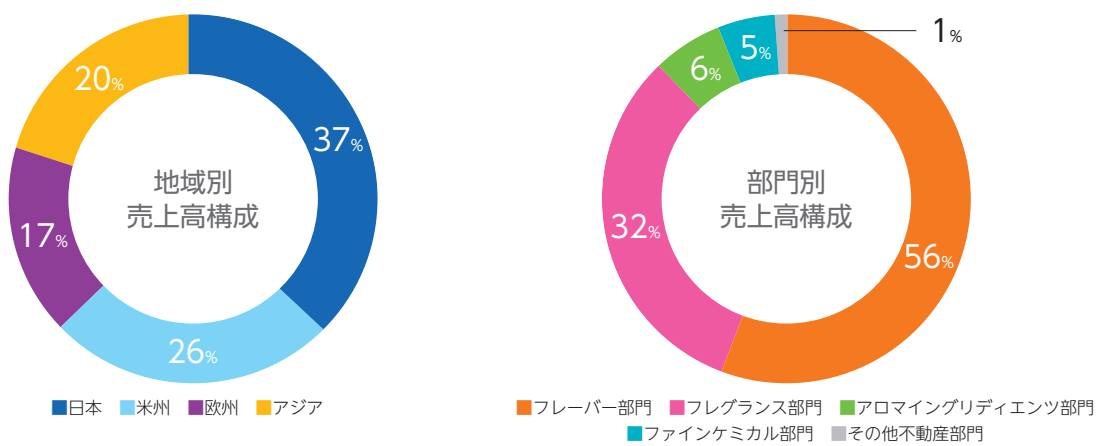
米国子会社およびメキシコ子会社においてフレグランス部門等が堅調に推移した他、為替変動の影響を受け増収となったものの、販管費増加の影響等もあり、減益となりました。

■ 欧 州

為替変動の影響を受け増収となったものの、原料高騰の影響等もあり、赤字となりました。

■ アジア

シンガポール子会社等において、フレーバー部門およびフレグランス部門等が堅調に推移し増収となったものの、販管費増加の影響等もあり、減益となりました。



部門別概況



フレーバー部門

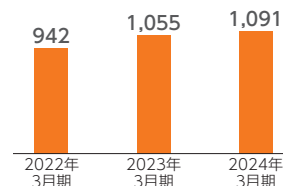
売上高 **1,091億円** [前期比3.4%増 ↑]

事業内容

飲料やデザート、菓子、乳製品、調理食品などに、優れた香りと風味を付与するフレーバーを提供し、さらに果汁やコーヒー、お茶といった食品原料も提供しています。

- 当社およびシンガポール子会社において飲料向け等が堅調に推移した他、為替変動の影響を受け、増収となりました。

売上高 単位：億円



フレグランス部門

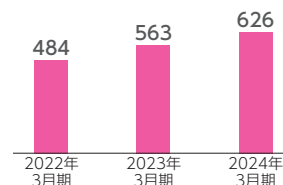
売上高 **626億円** [前期比11.2%増 ↑]

事業内容

香水や化粧品やシャンプー、洗剤、芳香剤、入浴剤といった商品に使用される香りを、残香性や拡散性、安定性にも優れたかたちでクリエーションし、提供しています。

- シンガポール子会社およびインドネシア子会社において香粧品向け等が好調に推移した他、為替変動の影響を受け、増収となりました。

売上高 単位：億円



アロマイングリディエーツ部門

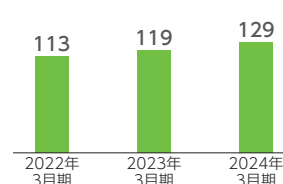
売上高 **129億円** [前期比9.1%増 ↑]

事業内容

光学活性で革新的かつユニークな香りの素材を開発し、高品質のフレーバー、フレグランスのクリエーションに用いています。

- スペシャリティ品関連が好調に推移した他、為替変動の影響等を受け、増収となりました。

売上高 単位：億円



ファインケミカル部門

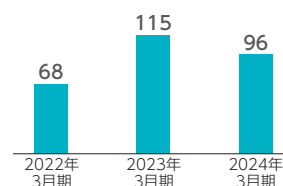
売上高 **96億円** [前期比15.8%減 ↓]

事業内容

独創的な触媒・不斉合成技術を核に、連続フロー技術による医薬品中間体、電子写真感光体などの機能性素材を提供しています。

- 医薬品中間体が前期を下回り、減収となりました。

売上高 単位：億円



※上記の他に、その他不動産部門の売上高14億円がございます。

高砂ならではのしなやかなガバナンスを構築することに貢献したいと思います

社外取締役 塚本 恵

Q 当社の社外取締役に就任された経緯、理由などを教えてください

A. 外資系ITの日本企業および外資系製造業の日本法人において35年以上働いておりました。米国のグローバル本社の統制が強いガバナンスの下で働いていたため、いつか日本企業でグローバル展開をしている会社において逆の立場から考えてみたいと思っていたところ、当社を紹介いただきました。

Q 塚本取締役から見た当社についての気づきや今後の可能性・課題等について教えてください

A. 人を大切にする、優しい企業だと感じております。まだまだお話しした方が少ないため、偏っている可能性が高いのですが、現在の風土を大事にした上で、海外の関連会社までを含めた企業価値の最大化のための仕組み、人を大切にする諸制度に加えて一人ひとりのやる気を誘引する方策、One Takasago意識を広げるフラットなコミュニケーションなどがあると、更に成長に資するのではないかと現時点で感じております。

Q 新中期経営計画【NGP-2】について。前中期経営計画から「3つの基本方針」は継続されていますが、そのうち「海外の成長」「国内の収益性改善」をこれまで以上に進めるために、どのような視点、課題等があると思われますか

A. 「海外の成長」については、現在進めているシステムの統一化、サプライチェーンの統合などが重要な基盤になると考えております。リアルタイムに世界の状況が当社でも把握できるようになると、次の一手がタイムリーに打てるようになりますし、グローバルでの最適化も可能となります。海外のグループ会社の自主性を尊重しつつ、本社でどの部分をどのようにグリップしていくかを継続的に考えていく必要があるかと思っています。

「国内の収益性改善」については、理想論かつ一般論ではありますが、価格競争に巻き込まれない差別化をすることだと考えます。技術力を活かして、当社にしかできない新たな香りを提供し続けることが重要だと思います。また、事業部において取り組みが進んでいる新領域への積極的な参入も良い試みだと考えています。異業種交流など、新たな人々との接点を意識的に増やし、さらにこれらのアイデアを自由闊達に提案し、会社として傾聴する仕組みがあると良いかもしれません。

Q 「サステナブルな経営」について、どのような点を重視すべきだと思いますか

A. 次の100年も永続的に続く企業であるために、環境、社会、経済の観点から、すでに取り組んでおられることを世の中の動きや各国の法制などを取り入れつつ、継続的に着実に進めていくことが重要だと考えます。さらに一人ひとりの社員が当社のスポークスパーソンとして、自



社外取締役 つかもと めぐみ
塚本 恵

経歴

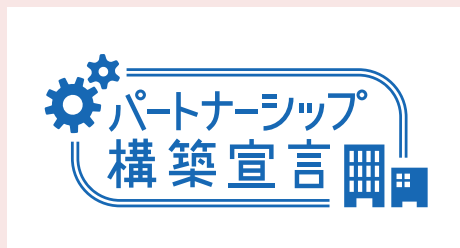
- 1985年 4 月 日本アイ・ビー・エム株式会社入社
- 1997年 7 月 公益社団法人経済同友会出向
- 1999年 8 月 日本アイ・ビー・エム株式会社政策渉外 帰任
- 2003年 4 月 IBM Corporation Governmental Programs, Intellectual Property & Standard Policy Team, Asia Pacific Leader
- 2008年10月 日本アイ・ビー・エム株式会社政策渉外エグゼクティブ
- IBM Corporation Governmental Programs Global Leadership Team Member
- 日本アイ・ビー・エム株式会社政策渉外部長
- 2015年11月 キャタピラー・ジャパン株式会社社執行役員渉外・広報室長
- 2017年12月 キャタピラー・ジャパン合同会社代表執行役員渉外・広報室長
- 2020年 4 月 新潟大学理事（現在に至る）
- 2022年 3 月 一般社団法人デジタルソサエティフォーラム代表理事（現在に至る）
- 2023年 3 月 株式会社オークネット社外取締役（現在に至る）
- 2023年 6 月 当社取締役（現在に至る）

社にプライドを持ち、サステナブルな経営に関する取り組みについて、それぞれの言葉で外部に対して話したいという気持ちにすることも大事だと思います。同時に、NGP-2において展開中の稼働力を更に磨き成長を続けることも企業としての基盤だと考えます。

Q 高砂香料の社外取締役の役割として、ご自身の注力ポイントを教えてください

A. グローバル企業の現地法人で働いてきた経験を活かし、海外のグループ会社を含めた当社ならではのしなやかなガバナンスのあり方を構築することに貢献できたらと考えております。企業の数だけグローバル経営の方法があるので、まずは皆さまのお話をもっと伺い、社員一人ひとりがより元気になるコミュニケーションについても共に考えていけたらと思います。

TOPIC・1 パートナーシップ構築宣言を公表しました



「パートナーシップ構築宣言」とは、企業規模の大小に関わらず、企業が「発注者」の立場で自社の取引方針を宣言する取り組みです。

企業は代表者の名前で、「サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携」等を重点的に取り組むことを宣言します。

当社は、Vision 2040に掲げる「人にやさしく、環境にやさしく」に則り、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組み、取引先の皆さまとの良好なパートナーシップの継続に努めてまいります。

当社宣言書

<https://www.biz-partnership.jp/declaration/49000-05-08-tokyo.pdf>



詳細に関しましては「パートナーシップ構築宣言」ポータルサイトをご覧ください。

▶ <https://www.biz-partnership.jp/index.html>

TOPIC・2 第5回日経「SDGs経営」調査において星3.5に認定されました



本調査は2019年から日本経済新聞社が実施しており、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」への企業の取り組みを評価する調査となります。「SDGs戦略・経済価値」「社会価値」「環境価値」「ガバナンス」の4つの分野からなるアンケート調査および公開データから、総合的に企業の「SDGs経営」を評価します。

今回、当社グループは総合評価で星3.5に認定、評価されました。分野別評価においては、「SDGs戦略・経済価値：A++」「社会価値：A+」「環境価値：A++」「ガバナンス：A」の評価を受けました。

今後もVision 2040に則り、サステナビリティ施策の一層の推進に努め、社会に貢献してまいります。

TOPIC・3 インド・ムンバイにフレグランスセンターを開設しました

当社グループ会社Takasago International (India) Pvt. Ltd.は、2024年4月3日にムンバイにTakasago International India Fragrance Centre (TIIFC) を開設しました。TIIFCの開設により、この重要な都市に新たな拠点を構え、急成長を遂げるインド市場において、より一層の存在感とコミットメントを高めてまいります。TIIFCは、お客様との深いパートナーシップを育み、フレグランスの競争力を高め、このダイナミックな市場でより多くのお客様にサービスするために、協業的な作業環境を提供するよう設計されています。

会社概要

事業所名: Takasago International India Fragrance Centre

所在地: Takasago International India Pvt. Ltd.
Unit4&5,9th Floor, R-City Mall Commercial Building (Gate#3),
Ghatkopar West, Mumbai, India 400068

事業内容: 調合香料の創香と開発、官能評価、アプリケーション、消費者傾向把握
や市場調査といったフレグランスの研究開発、およびセールス&マーケ
ティング活動からなるフレグランス事業機能

開設年月: 2024年4月3日



TOPIC・4 パリと香水展を開催中です

当社高砂コレクション®ギャラリーにおいて、「パリと香水—歴史を彩る香水瓶（フラコン）の世界」展を開催中です。パリはファッションと並んで香水の都でもあります。パリに本拠地を置く香水メーカー、ファッションデザイナー、宝石店などのブランド香水の歴史を香水瓶やポスターなどで振り返り、パリと香水との特別な結びつきを実感していただけるとと思っています。

当ギャラリーは本社受付横にあり、通常は世界の香り文化を伝える展示を行っています。今回は企画展として、約半年にわたってフランス香水の香水瓶を展示するだけでなく、実際に香水の香りを嗅げるコーナーも設けます。また、The TAKASAGO Timesの「香りの都、パリ」特集号を来場した希望者に配布します。ポスターも作成し、パリのエスプリを感じられる展覧会にしたいと考えておりますので、ぜひ会場にお立ち寄りください。

タイトル	パリと香水—歴史を彩る香水瓶（フラコン）の世界
期 間	2024年6月14日～2024年12月20日
入 場 料	無料
開 廊	9:30～17:00 (16:30最終入場) (ただし、毎月第三金曜は19:00まで開廊/18:30最終入場、 (6月21日、7月19日、8月16日、9月20日、10月18日、11月15日、12月20日))
展 示 品	香水瓶、広告ポスター、写真など計約130点



会社概要

会 社 名 高砂香料工業株式会社
(TAKASAGO INTERNATIONAL CORPORATION)
本 社 〒144-8721 東京都大田区蒲田 5 丁目 37 番 1 号
ニッセイアロマスケア 17F
T E L 03-5744-0511
創 業 1920年2月9日
資 本 金 92億4,853万8,972円

国内事業所一覧

本 社 大 阪 支 店 名古屋支店 福 岡 支 店
平塚研究所 平塚工場 磐田工場 鹿島工場 三原工場

国内子会社

株式会社高砂ケミカル
高砂スパイス株式会社
高砂フードプロダクツ株式会社
高砂珈琲株式会社
株式会社高砂インターナショナルコーポレーション
株式会社高砂アロマス
高栄産業株式会社
高和産業株式会社
有限会社高砂保険サービス
南海果工株式会社
高砂香料西日本工場株式会社

取締役および監査役 (2024年6月26日現在)

代 表 取 締 役	樹 村 聡
取 締 役	依 形 治
取 締 役	山 川 一
取 締 役	梁 谷 弘
取 締 役	松 中 明
取 締 役	水 野 樹
取 締 役	磯 端 一
取 締 役	川 本 樹
取 締 役	塚 本 恵
取 締 役	辻 上 子
取 締 役	川 林 宏
取 締 役	小 中 久
常 勤 監 査 役	監 査 役

(注) 1. 取締役野依良治氏、松田浩明氏、塚本恵氏、辻篤子氏は社外取締役であります。
2. 監査役小林一久氏、中江康男氏は社外監査役であります。

執行役員 (2024年6月26日現在)

社 長	樹 村 聡
常 務 執 行 役 員	山 川 一
常 務 執 行 役 員	梁 谷 弘
常 務 執 行 役 員	松 中 明
常 務 執 行 役 員	水 野 樹
常 務 執 行 役 員	磯 端 一
常 務 執 行 役 員	川 本 樹
常 務 執 行 役 員	塚 本 恵
常 務 執 行 役 員	辻 上 子
常 務 執 行 役 員	川 林 宏
常 務 執 行 役 員	小 中 久
常 務 執 行 役 員	監 査 役

THE TAKASAGO COLLECTION

高砂コレクション®は、香りや香料が歩んできた長い歴史と、その地理的な広がりを反映して、古代エジプトの香油瓶から現代の香水瓶に至るまでの、香りを容れるさまざまな形の「器」のほか、日本の香道具や香木、さらには香りに関する絵画やポスターといった、多様な時代と地域、形態のものから構成される多彩なコレクションとなっています。

コレクションは他美術館などに協力して出展するほか、本社に設けたギャラリーでご覧いただけます。

七宝花鳥文香炉

全体を有線七宝の技法で装飾した鼎形の香炉。七宝とは銅や銀の素地にガラスの釉を焼きつけて文様をあらわす技法。特に細い線状の金属を文様の輪郭線に用いるものを有線七宝という。本作は全体を黒地とし、唐草文や七宝 繫 文を有線七宝であらわす。側面二ヶ所には窓枠の中に梅樹に小禽図、菖蒲に鷺図を描く。ふたつの花鳥図はそれぞれ春夏の情景となっており、桃色の釉葉が黒地に映えて美しい。



株式の状況

発行可能株式総数
発行済株式の総数
株主数

60,000,000株
20,152,397株
4,725名

株式の分布状況

所有者別構成比
20,152,397株

■ 金融機関 45.9%
■ 金融商品取引業者 1.7%
■ その他法人 10.7%
■ 外国法人等 25.3%
■ 個人その他 16.4%

※個人その他には、自己株式としての保有分(3.4%)が含まれております。

株主メモ

事業年度
定時株主総会
基準日
株主名簿管理人
特別口座口座管理機関
(同連絡先)
上場証券取引所
証券コード
単元株式数
公告の方法
公告掲載URL

4月1日から翌年3月31日まで
6月
定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
三菱UFJ信託銀行株式会社
同
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話 0120-232-711 (通話料無料)
東京証券取引所プライム市場(化学)
4914
100株
電子公告により行う
https://www.takasago.com/ja/ir/e_announce.html

※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名	所有株式数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,938	10.0%
日本生命保険相互会社	1,468	7.5%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,013	5.2%
BNP PARIBAS PARIS/2S/JASDEC FRENCH RESIDENTS	994	5.1%
株式会社三菱UFJ銀行	947	4.9%
共栄火災海上保険株式会社	780	4.0%
中江産業株式会社	720	3.7%
高砂香料従業員持株会	568	2.9%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	506	2.6%
株式会社紀陽銀行	471	2.4%

※ 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数(678,736株)を控除して計算しております。

表紙の写真

香道系図および香道免状巻子

寛政から享和年間(18世紀末～19世紀初頭)にかけて津山藩(現岡山県の一部)松平家で藩医を務めた井岡道安が同藩の門人であった藤井成子に与えた免状で、「忍香伝書」から「六国伝書」に至る五巻である。そのうち「香道系図」は三条 西実隆公から志野宗信に伝えられた後の志野 流 香道皆伝者の血脈を記す。志野流の家元制度が確立する以前の、完全相伝のあり方を伝える貴重な史料である。

撮影：十文字 美信

株式に関する手続きについて

● 単元未満株式(100株未満の株式)買取・買増制度について

当社株式の証券市場での取引は100株単位(1単元)となっておりますため、単元未満株式(100株未満)を市場で売買することはできません。このため、当社では「単元未満株式買取・買増制度」をご用意しております。単元未満株式をご所有の株主さまは、ぜひ買取・買増制度のご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

買取・買増制度の例(160株ご所有の場合)

160株 = 100株(単元株式) + 60株(単元未満株式)

買取制度をご利用 → 60株を当社が買取 → 単元株式数 100株に

買増制度をご利用 → 40株を買増 → 単元株式数 200株に

サステナビリティ分野の取り組み

当社グループは、持続的な社会の実現に向けて、環境保全をはじめとしたさまざまな課題に対しグローバルに取り組んでいます。詳細については、当社ホームページ「サステナビリティ」をご参照ください。

URL

[https://assets.takasago.com/prod/default/s3fs-public/2024-03/sp\(JP\)_ns_web_0383014182311.pdf](https://assets.takasago.com/prod/default/s3fs-public/2024-03/sp(JP)_ns_web_0383014182311.pdf)

高砂香料工業株式会社
『サステナビリティ報告書 2023』

グローバルネットワーク | GLOBAL NETWORK |

ヨーロッパ・中東・アフリカ

フランス	Takasago Europe Perfumery Laboratory S.A.R.L.
ドイツ	Takasago Europe G.m.b.H.
	Takasago International (Deutschland) G.m.b.H.
イタリア	Takasago International (Italia) S.R.L.
スペイン	Takasago International Chemicals (Europe), S.A.
	Takasago International (España) S.L.U.
イギリス	Takasago (U.K.) Ltd.
トルコ	Takasago International Turkey Esans Ve Aroma San. TIC. A.S.
南アフリカ	Takasago International Corporation South Africa (Pty) Ltd.
マダガスカル	Takasago Madagascar S.A.

アメリカ大陸

アメリカ	Takasago International Corporation (U.S.A.) Centre Ingredient Technology, Inc.
メキシコ	Takasago De Mexico S.A. De C.V.
ブラジル	Takasago Fragrâncias E Aromas Ltda.



アジア・パシフィック

日本	Takasago International Corporation	パキスタン	Takasago International (Pakistan) Pvt. Ltd.
シンガポール	Takasago International (Singapore) Pte. Ltd.	中国	上海高砂香料有限公司
フィリピン	Takasago International (Philippines), Inc.		上海高砂・鑑臣香料有限公司
タイ	Takasago Import and Export (Thailand) Ltd.		廈門華日食品有限公司
インドネシア	PT. Takasago International Indonesia		高砂香料 (広州) 有限公司
	PT. Takasago Indonesia	韓国	Takasago International Corporation (Korea)
インド	Takasago International (India) Pvt. Ltd.	マレーシア	Takasago International (Malaysia) Sdn.Bhd.



〒144-8721 東京都大田区蒲田5丁目37番1号
ニッセイアロマスクエア 17F
TEL.(03) 5744-0511 FAX.(03) 5744-0512
<https://www.takasago.com>

